

知事との県民対話集会（飯島町）概要

- ・開催日時 令和5年6月19日（月） 午後2時30分から午後4時まで
- ・会場 飯島町文化館 大ホール
- ・参加者 県民40名、下平飯島町長、阿部知事、布山上伊那地域振興局長
- ・テーマ 人口減少社会の克服に向けたまちづくり
（農業への女性参入、空き家対策、若者の就学・Uターン促進）
- ・主な発言（要旨）

【参加者】

- ・子育て世代の女性が活躍できる一つのスタイルとして、農業の現場で就労していただくモデル的な事業所の新設や仕組みづくりを進めている。
- ・地域の農産加工品に触れてもらうことで地元の農産物に関心を持ってもらうための体験型ワークショップや受入環境の整備を行う農家への補助を実施している。

【参加者】

- ・町内の標高差を活かした、いちごの通年栽培を実施している。
- ・胸の高さくらいで作業する高設栽培をしており、服が汚れないため、若い女性にとって魅力の一つになると思われる。6次産業化のキッチンカー販売に本格参入するにあたって、新たに女性の力をお借りして頑張っていきたいと考えている。
- ・若い世代が農業に真剣に取り組み、楽しむ姿をSNS等で発信すれば、違った角度から農業の魅力が伝わっていくと思う。こうした取組を通して県内、町内農業を盛り上げていきたいと考えている。

【知事】

- ・女性が働きたくなる職場をつくるのが重要だと思っている。その一つが農業であると思う。長野県は農家戸数も農業従事者も多いが、高齢化しているので若い女性にも農業に参画してもらいたいと考えている。そのためには農業を体験してもらわないと始まらない。よい取組にしてもらいたいと思うし、県も参考にさせていただきたい。
- ・他地域ではスマホアプリで人を集めている事例もある。飯島町でもDXを活用することができるのではないかと。
- ・子育てを応援してくれる人をどうつくるか、子育て支援とセットでのマッチングも必要になってくるのではないかと。
- ・都会の人たちはそもそも農業が仕事の選択肢にない。県としては仕事と移住をセットで打ち出していると思っているので、若い世代の農家の方には一緒に農業の魅力を発信してほしいと考えている。ご協力をお願いしたい。

【参加者】

- ・東京から移住し、現在は空き家活用事業や建築設計業務を行いながら、事業拠点として空き家を活用したシェアオフィスの準備を進めている。古い空き家のDIYに興味のある人たちを関係人口として、移住前に地域と関わりをつくりながら、段階的な移住・定住のルートづくりを目指している。
- ・空き家が市場に出てこないのが課題。好事例の積み重ねにより流れが変わればと思っている。

【知事】

- ・空き家はあるが住む場所がなく、来てもらえる人を取り逃しているということは県全体でも感じているので、しっかり取組を進めていただければありがたい。課題などがあれば教えてほしい。

【参加者】

- ・奨学金について、諸外国では給付型なのに対し、日本では大半が貸与型である。卒業後の経済的負担を軽減するため、給付型の奨学金や返還支援について県でも検討してほしい。
- ・リニア開通により地元に住みながら都市部への通学が可能になることから、通学費用の支援を行ってはどうか。
- ・外国人にも選ばれる町にすることで、幅広い人材を呼び込むことができるのではないか。
- ・総合型選抜など多様化する大学入試への対策が不足していると思う。

【知事】

- ・国立大学の授業料を上げ過ぎているのではないかと思う。県も企業と連携しての奨学金返還支援制度をつくったが、あまり活用されていない。所得の要素だけでなく、いろいろなことにチャレンジをした人を応援する奨学金について検討している。奨学金については、県として少し踏み込んでいるが、子育てに関する負担軽減の話と併せて考えていきたい。
- ・リニア開通により教育の選択肢は増えるが、県内に高等教育機関が少ないことが人口減少や選択肢が少ないことの要因でもあると思うので、大学などを長野県に立地してもらおうよう、学びの場の誘致も進めたいと思っている。
- ・外国人やLGBTの方など、いろいろな人が受け入れられる地域でなければ発展しない。海外の方々を地域の一員として受け入れる環境を整えることが必要であると思う。
- ・県立高校について、子どもたちのそれぞれの希望を叶えられるようにニーズに合った特色をしっかりと出した方がよいと思っており、特色ある県立高校づくり懇談会をつくり議論を進めている。
- ・また、教育の分野は権限があいまいであるため、信州学び円卓会議を開催する。地域から意見を出してもらいたいと思っているので、市町村からも声を上げていただきたい。

【参加者】

- ・子どもたちに地元に残ってもらうため、働く場所があり、環境がよく、食べ物もおいしいといった長野県の魅力を小中高校で教えてもらいたい。
- ・空き家に移住した人たちにPRしてもらい、実際に移住した場合は助成金などを出す方法はいかがか。

【知事】

- ・学校や地域で教育内容は違いがあると感じる。子どもたちに対してどのように地域の人が接しているかが反映されている気がする。
- ・移住者の受入れには空き家の活用の仕方は重要だと思っている。地域の方の協力、連携が必要であると考えている。

【参加者】

- ・広域農道（町道）与田切橋付近は、七久保方面からが急こう配で交通事故が多いため、現地を調査し、橋をかけてほしい。平坦化と距離短縮によりCO²削減にも効果的であると思う。

【知事】

- ・県内にはいろいろな道路があるので、優先順位を付けながら整備をしている。道路がどのような状況か確認し、町の意見も聞きながら対応したい。